

★★令和2年度 諸塚村 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証★★

R2_地方創生臨時交付金(効果検証)

No.	交付対象事業の名称	事業の計画概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	決算額 (円)	うち臨時交付金 充当額(円)	事業実績	事業実績	
								効果検証	主な理由
					173,149,996	135,417,000			
1	感染拡大防止対策事業	①公共施設、接客事業所及び今後予想される台風等の避難所等で使用 するマスク及び消毒液等を整備し感染拡大防止を図る ②マスク及び消毒液、避難所の感染防止資材(パーティション、簡易ベッド) 等の購入経費 ③諸塚村(役場及び各避難所に配置)	R2.5.19	R3.1.14	1,689,757	1,650,000	役場受付パーティション8個(住・税) 98,560円 感染防止フェイスシールド 1,782円 役場受付パーティション3個(総・義) 36,960円 会計室アクリル板設置 59,180円 避難所用マスク32箱・消毒液1リットル32本137,280円 感染拡大防止防壁資材一式 639,100円 手指消毒剤10×5本 9,900円 コロナ対策備蓄品(待機者非常食) 12,096円 使い捨てペーパー 6,523円ペーパータオル 6,376円 デント型パーティション10基、簡易ベッド15台 682,000円	かなり効果があった	消毒液等の調達もでき、今年度の新型コロナウイルス感染者は村内で0人となったことから、効果が得られたと判断した。
2	学校保健対策単独事業	①学校再開後の対策として手指消毒薬の備蓄及び再流行に備えたマスクの備蓄を行う ②消毒薬及びマスクの購入費に充当 ③諸塚村(村内小・中学校に配置)	R2.7.13	R2.11.20	102,080	70,000	消毒薬:500ml 208本 91,520円 マスク50枚入 8箱 10,560円	かなり効果があった	学校における消毒の徹底により、児童・生徒の安心な学習環境を確保することができた。
3	検査用非接触型体温計整備事業	①人が集まる会議や避難所等において検温を行うことにより体調不良者を把握し、感染拡大防止を図る ②検温用の非接触型体温計の購入経費に充当 ③諸塚村(役場及び各避難所に配置)	R2.6.25	R3.3.24	589,380	550,000	避難所用非接触型体温計 16本 190,080円 検温用の非接触型体温計 10本 69,300円 顔認証システム 1台 330,000円	かなり効果があった	発熱した人の発見のほか、マスク未着用者への啓発となり、新型コロナウイルス感染者は村内で0人となったことから、効果が得られたと判断した。
4	医療提供体制等構築事業(国民健康保険諸塚診療所繰出事業)	①感染症の対応として緊急に必要な医療提供体制等の構築のため、必要な医療機器等を整備や施設の改修を実施する ②医療機器を購入するための経費として国民健康保険諸塚診療所へ繰出 ③国民健康保険諸塚診療所に整備する設備等(諸塚診療所への繰出) ④国民健康保険諸塚診療所	R2.4.8	R3.1.13	11,600,000	10,440,000	エリア仕切りパーティション1個 14,124円 簡易ロッカー1台 25,300円 アクリル板パーティション2個 24,640円 外部物品引き取り台車2台 23,958円 医療用スタップ用シャワールーム改修事業 1,243,000円 人工呼吸器1式 3,190,000円 ハンディ型血ガス分析装置1基 880,000円 全自動血球計数装置1基 2,822,000円 ホルタ型心電図記録器1基 825,000円 シャワーストレッチャー1式 1,082,620円 防護服50枚 220,000円 介護用グローブ40箱 19,800円 手指消毒液20本 12,100円 非接触型体温計4台 23,100円	かなり効果があった	新型コロナウイルス感染症の院内感染を防ぐことができた。 新型コロナウイルス感染症患者の外来及び入院治療対応をすることができた。 上記のことから効果が得られたと判断した。
5	県産農畜水産物応援消費推進事業	①宮崎県産の食材を学校給食に活用し、地元産品の振興を図る ②学校給食に使用される宮崎県産の農畜産物購入の経費に充当 ③牛肉26.85kg 地鶏26.85kg 魚123kg 椎茸10.6kg 米1,500kg ※アレルギー対応のため、品目により人数差あり。 ④諸塚村(村内小・中学校給食で使用)	R2.4.28	R3.3.19	1,579,226	500,000	地鶏1,080円×40kg 43,200円 うなぎ蒲焼(85kg)・タレ(500袋) 526,465円 牛肉(35kg)・魚(53kg)・煮干しちりめん(4.3kg) 479,173円 椎茸(15.3kg) 82,620円 米(1,250kg) 447,768円	効果があった	コロナ禍で衰退していた県産品事業者の活性化に大いに貢献し、コロナ禍を起因とする村内事業者の撤退を防止することができた。
6	雇用対策村基本財産造成事業	①木材価格の下落により木材搬出が減少している森林組合作業班員の雇用確保のため、村有林の整備を行い、雇用の維持を図る ②村有林の除伐の作業費に充当 ③対象地13ha除伐 ④森林組合	R2.7.22	R2.12.18	2,409,000	2,400,000	村有林造林事業(除伐Ⅰ)7.29ha 1,342,000円 村有林造林事業(除伐Ⅱ)5.95ha 1,067,000円	効果があった	新型コロナ蔓延初期において、木材価格が大きく下落したため、木材の搬出を抑制した。そこで、林業従事者の就業の場を確保し、収入の減少を抑制するために当該事業を実施し、林業担い手の離職を防止することができた。
7	森林保全整備事業(雇用対策)	①木材価格の下落により木材搬出が減少している森林組合作業班員の雇用確保のため、森林整備事業の一部を支援し、雇用の維持を図る ②保育間伐や椎茸原木林整備の作業費助成に充当 ③保育間伐:80ha 椎茸原木林等整備 森林整備支援:180m3 ④森林組合・山林所有者	R3.3.19	R3.3.24	2,048,400	2,000,000	森林保全保育間伐事業補助金(70ha) 1,700,400円(45名) 椎茸原木大径林更新事業補助金(174m) 348,000円(1事業所)	効果があった	新型コロナ蔓延初期において、木材価格が大きく下落したため、木材の搬出を抑制した。そこで、林業従事者の就業の場を確保し、収入の減少を抑制するとともに、林内環境の向上が図れた。
8	優良基礎雌牛基盤整備支援事業	①価格が下落している和牛の繁殖農家が優良基礎雌牛を導入する際の購入経費の一部を支援し、地域産業の振興を図る ②優良基礎雌牛の購入額の助成に充当 ③購入額の20%~40%を助成 村品評会優等主席牛を購入実績×40%補助 村品評会優等牛を購入実績×30%補助 村品評会出場牛を購入実績×20%補助 村外産牛を購入実績×20%補助 ④対象となる事業主	R2.6.1	R3.3.26	3,748,000	3,250,000	(交付金対象) 補助率40% 1,280,000円(4頭) 補助率30% 1,294,000円(6頭) 補助率20% 1,104,000円(7頭) (交付金対象外) 補助率10% 70,000円(1頭)	効果があった	新型コロナ蔓延初期において、子牛販売価格が大きく下落したため、当該事業により購入経費の一部補助を行うことで、子牛の導入及び保留を推進し、畜産産業の振興と経営の安定を図れた。

No.	交付対象事業の名称	事業の計画概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	決算額 （円）	うち臨時交付金 充当額（円）	事業実績	事業実績	
								効果検証	主な理由
9	村産優良材 確保支援事業	①木材価格が下落しているため、産直住宅で使用する村産優良材の販売価格への支援を行い、地域産業の振興を図る ②村産優良材の販売価格助成に充当 ③600m ³ ×2,000円 ④対象となる事業主	R2.7.9	R2.7.10	1,166,000	1,100,000	産直住宅用葉枯らし材への価格上乗せ補助(4件) 853m ³ 1,166,000円	効果があった	新型コロナ蔓延初期において、木材価格が大きく下落したため、当該事業により、木材価格の補填を行うことで、優良材を生産する森林所有者の収入確保を行うことができた。
10	椎茸生産者 支援事業(繰越)	①椎茸価格が下落しているため、椎茸の選別、原木の調達、種駒の購入に係る経費への支援を行い、地域産業の振興を図る ②椎茸選別の助成に充当 ③選別料補助:事業費90%補助 原木補助:自家原木24円/本 購入原木15m ³ 以上購入実績×70%補助 15m ³ 未満購入実績×50%補助 種駒補助:10万個以上購入実績×70%補助 5万個以上10万個未満購入実績×65%補助 2万個以上5万個未満購入実績×60%補助 ④対象となる事業主	R3.2.8	R3.5.24	35,203,538	24,000,000	椎茸生産振興対策事業 R2椎茸選別補助(96件) 3,098,566円 椎茸原木補助:自家原木補助(38件) 2,427,528円 椎茸原木補助:購入原木補助(37名) 7,920,000円 椎茸種駒購入補助(93件) 11,649,000円	効果があった	新型コロナウイルス感染症の流行により需要の低下が危惧され、生産者の意欲低下・生産体制の減退が懸念されていた。そのような中、経費への支援を行えたことで生産意欲・体制の維持ができた。
11	事業継続応 縁給付金事業	①飲食業等の収入が減少している業種への給付事業により支援を行う ②給付金に充当 ③31店舗×100千円 事務費:商工会事務委託料 155千円 ④対象となる事業主	R2.5.26	R2.8.4	3,255,000	3,200,000	事業継続応縁給付金事業 31事業所 3,100,000円 事業継続応縁給付金事業事務費 155,000円	かなり効果があった	コロナ禍による廃業や休業が全くなかった。
12	飲食事業者 等施設賃料 応縁事業	①収入が減少している飲食業への賃料補助の支援を行う ②賃料補助に充当 ③賃料×50%×6ヶ月×2店舗 事務費:商工会事務委託料 18千円 ④対象となる事業主	R2.5.25	R2.8.4	220,500	200,000	飲食事業者等施設賃料応縁事業 2事業所 220,500円	かなり効果があった	コロナ禍による廃業や休業が全くなかった。
13	飲食店等応 縁商品券配 付事業	①村独自の給付型商品券を発行し、経済の活性化と商店街の利用推進を図る ②特別商品券発行に充当 ③住基人口1,608人×5千円 事務費:消耗品費 郵便料 商品券作成委託料400千円 商工会事務委託料400千円 ④村民	R2.6.19	R2.12.9	8,791,565	8,790,000	飲食店等応縁商品券配布(換金業務)事業 8,106,000円 商品券発送送料 286,265円 商品券作成委託料 399,300円	かなり効果があった	コロナ禍で衰退していた飲食料品関係事業者を中心に支援でき、コロナ禍を起因とする村内事業者の廃業・休業が全くなかった。
14	復興割引商 品券販売事業	①地域商店街支援商品券の発行を支援し、経済の活性化と商店街の利用推進を図る ②商品券の割引費助成に充当 ③商品券助成額: 商品券準備額25,000千円×割引率40%=10,000千円 (割引助成額) 割引助成額の内県費補助10,000千円×1/2=5,000千円 事務費:商工会委託料 1,000千円 ※村費助成額 割引助成額5,000千円+事務費1,000千円=6,000千円 (Fその他は県補助金) ④村商工会	R2.6.24	R3.3.16	11,000,000	5,000,000	復興割引商品券販売事業 11,000,000円	かなり効果があった	コロナ禍で衰退していた村内事業者の活性化に大いに貢献し、コロナ禍を起因とする村内事業者の廃業・休業が全くなかった。
15	救急業務等 感染防止対 策事業	①新型コロナウイルス患者やその疑いがある患者が接触する救急隊や医療従事者の感染防止対策として、感染防護衣等の整備を行う ②感染防護衣の購入経費に充当 ③感染防護衣セット:230セット ④諸塚村(役場に配置)	R2.9.1	R2.12.10	785,400	750,000	救急用感染防護衣80着、医療用シューズカバー1000枚 125,400円 感染防護衣セット200セット 660,000円	かなり効果があった	救急隊員の着用励行により、隊員の感染者がいなかったことから効果が得られたと判断した。
16	諸塚村議会 感染防止対 策事業(繰越)	①諸塚村議会において、タブレットを活用した非接触型の通信設備を整備することにより、感染防止対策を図る ②タブレット等の整備等に係る経費に充当 ③議会タブレット導入 タブレット購入費10台 タブレット初期設定手数料 タブレット利用料×6ヶ月 タブレット通信費 ④諸塚村(諸塚村議会で使用)	R2.9.30	R3.11.12	2,748,000	1,800,000	タブレット議会端末機器導入事業 10台 1,645,600円 クラウド本棚サービス事業 一式 179,982円	かなり効果があった	議会事務局と議員との連絡が迅速、かつ確実に行えるようになった。また、議案をすべてタブレットに入れる事ができるため、ペーパーレスの効果は大きい。

No.	交付対象事業の名称	事業の計画概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	決算額 (円)	うち臨時交付金 充当額 (円)	事業実績	事業実績	
								効果検証	主な理由
17	税申告感染拡大防止対策事業	①2月から行う住民税の申告受付業務において、マスクや消毒液等を整備し感染拡大防止を図る ②マスクや消毒液等の購入経費に充当 ③マスク50枚入り×10箱 消毒液1本(1ℓ)×3本 非接触体温計×1本 パーテーション×3枚 ④諸塚村(役場に配置)	R2.11.6	R2.12.7	55,550	55,000	申告用マスク500枚 消毒液3本(3ℓ) 体温計1台 パーテーション3台 合計55,550円	かなり効果があった	主に住民税申告に使われたが、申告場所での感染者はでなかった。
18	体験型観光リモート化事業	①諸塚村の観光の主力である体験型観光を、これまでの団体による現地体験型から、少人数限定による催行に切り替え、量より質を徹底する。集客の不足による採算は厳しくなるが、動画撮影等のネット配信による仮想体験を組み込み、有料発信ソフトの導入や、情報発信の強化で広く顧客層を広げ、密を避けた分散型の現地体験の催行を可能にし、長期的に持続可能な、新たな体験型観光の新モデルを構築する ②少人数体験モデルツアーの催行、動画撮影・音声収録の機材整備、撮影収録・編集委託、情報発信サイト整備・広告宣伝に充当 ③委託費 (実証ツアー、動画機材、撮影編集費、サイト運営・広報宣伝) ④一般社団法人諸塚村観光協会	R2.8.12	R3.3.26	3,960,000	3,900,000	地方創生臨時交付金事業オンライン・エコツアー実証事業 3,960,000円 実証ツアー600千円、動画撮影・編集2,360千円、サイト運営・広報宣伝1,000千円	かなり効果があった	実証ツアー：7回 動画作成・配信：9本 コロナ禍で従来の対面式での体験ツアーの開催が困難な中、オンラインで新たなツアー造成を確認し、新規の顧客獲得に繋がった。
19	リモート会議環境整備	①リモート会議システムの環境を整備し、出張等で村内及び村外の民間を含めた業務の打合せをリモート化することにより、職員の安全管理と業務の効率化を図る ②リモート会議用機器の購入(パソコン、マイク、カメラ等)とLAN配線整備に充当 ③パソコン等×2台 配線工事 ④諸塚村(役場に配置)	R2.8.27	R2.12.7	671,880	400,000	ウェブ会議環境整備事業(会議室2箇所インターネット環境整備) 385,000円 ウェブ会議環境構築事業 45,100円 ウェブ会議用ノートパソコン購入事業1台 126,500円 ウェブ会議用ノートパソコン購入事業(もろっこはうず)1台 115,280円	かなり効果があった	コロナ禍で、対面での打ち合わせや研修等の開催が困難になる中、オンライン上でこれらの業務ができることが可能であると実証でき、安全な業務の遂行が可能となった。
20	農産加工品通信販売向け商品開発事業	①椎茸等の地場の農産品は従来の主力である量販店や飲食店の需要減の影響が大きい。今後新しい生活様式が浸透する中で伸びると想定する通信販売向けの6次産業化商品を開発し、新たな販路を開拓する ②商品開発委託費に充当 ③委託費：3,800千円 (市場調査費、資材費、試作費、包材・デザイン) ④諸塚村特産品開発協議会	R2.8.12	R3.3.31	3,799,400	3,750,000	乾椎茸加工商品化プロジェクト推進業務委託 3,799,400円 ・調査・研究385千円 ・試作品の製造1,430千円、 ・包装容器とデザインの検討1,320千円 ・生産体制の検討264千円 ・諸経費400千円	効果があった	諸塚村の主力特産物である乾し椎茸に関して、コロナ禍での新たな需要と今後の食生活に対応した商品の製造のため、協議を重ね、より良い商品開発に繋がった。
21	住民健診時等感染拡大防止等	①住民健康診断時のソーシャルディスタンスの確保を行い、感染拡大防止を図る ②健診時の感染拡大防止資材等購入に充当 ③パーテーション購入：10,989円×8台 ④諸塚村(役場に配置)	R3.2.3	R3.3.4	87,912	80,000	クロスジップスクリーン(衝立) シングルジップタイプ3連 8基 87,912円	かなり効果があった	集団健診会場等での間仕切りとして活用。健診会場での集団感染の発生がなかったため、感染対策として効果があったと評価する。
22	自宅待機者対応生活支援事業	①感染または、濃厚接触者指定等により自宅待機を余儀なくされた住民への食料品供給支援のため、食品保管用冷凍冷蔵庫を整備する ②役場に設置する冷凍冷蔵庫の購入に充当 ③冷凍冷蔵庫購入：700,000円×1台 ④諸塚村(役場に配置)	R2.8.18	R2.9.11	676,500	650,000	冷凍庫1台 676,500円	効果があった	感染後、隔離生活で食事の確保が困難な場合に支給する冷凍食品の保管用に使用。住民の相談に即時対応できたため、効果があったと判断する。
23	特別養護老人ホーム等感染拡大防止運営助成事業	①特別養護老人ホーム、デイサービスセンター等高齢者福祉施設において、感染拡大防止対策を行いながらの運営に対し、助成事業を行う ②村内にある特別養護老人ホーム及びデイサービスセンターへの運営補助金に充当 ③補助金：1,000千円 ④社会福祉法人 諸塚村社会福祉協議会	R2.8.19	R2.8.19	1,000,000	1,000,000	衛生用品 1,222,230円 介助パーベツト修繕費5台 147,700円	効果があった	施設内での集団発生防止や陽性者発生時に備えた衛生用品の備蓄、発生後の利用者対応を目的とした備品修繕を行い、施設の運営と並行して対策に取り組むことができた。
24	優良子牛生産基盤整備事業	①優良子牛を生産するための資金確保のため、下落している子牛価格に補填をし、持続ある畜産業の振興を図る ②全年度同期のセリ市価格が10%以上減少となった場合に、子牛1頭当たりの販売価格(税抜き)に10%を補填する ③補助金：550,000円/頭×35頭×10% ④生産者	R2.8.19	R2.8.19	1,366,500	1,300,000	諸塚村優良子牛生産基盤整備事業25頭(12名) 1,366,500円	効果があった	新型コロナウイルス蔓延初期において、子牛販売価格が大きく下落したため、当該事業により販売価格の補填を行うことで、畜産業の経営安定と衰退防止を図れた。
25	木材収入安定対策支援事業	①木材価格の下落により、原木の出材調整や出動調整等を余儀なくされる林業事業者や、山林収入が減少する山主に対し支援を行い、林業の衰退防止を図る ②スギ原木の平均単価が10,000円/m3となった場合に、諸塚木材加工センターに出材されたスギ原木に対し、1m3当たり1千円を支援する ③補助金：9,500m3×1,000円 ④林業事業者及び山主	R2.9.11	R2.10.1	6,097,000	6,050,000	木材収入安定対策支援事業補助金 6,120.53m ³ (48名) 6,097,000円	効果があった	新型コロナウイルス蔓延初期において、木材価格が大きく下落したため、山林収入が減少する山主に対し支援を行ったことで、林業従事者の離職を防止することができた。

No.	交付対象事業の名称	事業の計画概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	決算額 （円）	うち臨時交付金 充当額（円）	事業実績	事業実績	
								効果検証	主な理由
26					-	-			
27	木材活用新規需要促進補助事業	①木材需要の停滞で価格が暴落している原木の活用のため木質バイオマス等の新規需要を開拓するとともに、林業従事者の雇用促進を図るため事業展開への補助を行う ②バイオマス工場の施設整備への助成 ③補助金：施設整備費の2/3補助 18,000,000円×2/3 ④公募による事業実施者の採択	R3.2.3	R3.2.5	12,000,000	12,000,000	木質バイオマス工場施設整備 1490.00㎡ 対象額：18,020,850円×2/3（上限12,000,000円）	効果があった	新型コロナウイルス蔓延初期の木材価格の低迷時に木質バイオマス工場への施設整備を行うことで、木材価格の維持及び新たな雇用の場を創出することができた。
28	教育関係施設公共的空間安全・安心確保事業	①学校、社会教育、社会体育施設における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の対策を図る ②簡易宿泊所（指定避難所）の空調機の整備、学校・社会教育施設・社会体育施設の手洗い場の自動水栓化への充当 ③簡易宿泊所（指定避難所）空調機整備： 宿泊部屋 3部屋×1基 研修室 1室×2基 学校、社会教育施設、社会体育施設自動手洗い器設置：50箇所 ④諸塚村（教育関係施設に整備）	R2.9.14	R2.11.10	4,950,000	4,030,000	・簡易宿泊所（指定避難所）空調機整備 客室3部屋各1基、研修室2基 1,320,000円 ・自動水栓設置箇所 学校施設30箇所、社会教育施設6箇所、社会体育施設14箇所 3,630,000円	かなり効果があった	施設を安心して利用できる環境を整備することができた。
29	学校保健特別対策事業費補助金	①この補助金（学校保健特別対策事業費補助金）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による学校の一時臨時休業に係る対応及び臨時休業からの再開等を支援するため、学校設置者が実施する取組に係る経費を補助するもの ②学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業として、学校設置者が実施する取組に係る経費に充当 ③4校×1,000,000円×50% ④村立学校4校	R2.9.16	R3.3.25	4,122,444	1,500,000	（諸塚中学校）補助金1,049,839円 感染症対策 696,299円 学習保障 353,540円 （七ツ山小学校）補助金1,000,115円 感染症対策 648,280円 学習保障 351,835円 （荒谷小学校）補助金1,024,725円 感染症対策 956,525円 学習保障 68,200円 （諸塚小学校）補助金1,047,768円 感染症対策 1,018,050円 学習保障 29,718円	効果があった	臨時休業からの再開をスムーズに実施することができた。
30	地産地消食料利用推進事業	①給食室の調理器具及び食料ストック用の冷凍冷蔵庫等の整備と電源増強を行い、効率化した給食室において地域で産出される農林水産物を学校給食に活用することで食育の推進を行うとともに、地元農産物直売所と連携強化をはかり生産者の所得向上を目的とする ②給食に関連する備品及び電源強化に関する経費に充当 ③備品購入：冷凍冷蔵庫1台、立体炊飯器1台、消毒保管機1台 高圧受電設備増設工事：設計、工事 ④諸塚村（中学校給食室等に整備）	R3.1.25	R3.3.31	10,309,090	10,300,000	中学校消毒保管庫2台、立体炊飯器1台、冷凍冷蔵庫1台 3,819,090円 中学校高圧受電設備増設工事設計業務委託 440,000円 中学校高圧受電設備増設工事 6,050,000円	効果があった	整備の充実により、地元産品の給食利用を推進することができた。
31	公立学校情報機器整備費補助金（村単分）（繰越）	①GIGAスクール構想事業に関連して村が負担する費用に活用する ②業務委託料（タブレット端末整備）に充当 ③委託料：120台（補助対象外経費あり） ④村立小中学校	R3.2.2	R3.12.22	8,384,280	2,200,000	諸塚小中GIGAスクール端末整備事業タブレット120台 5,384,280円	かなり効果があった	タブレットの整備により、学校休業時にも児童生徒の自宅における学習環境を確保することができた。
32	図書館パワーアップ事業	①外出抑制時に自宅で過ごす時間を豊かなものとして読書の推進を図るべく、図書室の蔵書を増やし、環境整備を行う。また、図書室内における感染予防のため、返却本の滅菌庫の設置、キッズコーナー周辺への空気清浄機の設置ならびに間隔確保のためのスタッキングスツールの整備を行う ②図書の購入、感染防止対策備品等の購入に充当 ③図書：400冊 保管用ブックトラック×4台 抗菌ブックコート×4個 除菌BOX（返却本滅菌庫）×1台 空気清浄機×1台 カウンタータイプデスク×3台 ④諸塚村（諸塚村図書室に配置）	R2.9.11	R3.3.16	1,672,879	1,650,000	図書 659,999円 ブックトラック4台 376,200円 ブックコート4箱 57,200円 除菌BOX1台 308,000円 空気清浄機1台 80,080円 カウンタータイプデスク3台 191,400円	かなり効果があった	ブックトラックやカウンターテーブルの導入により利用者の状況にあったレイアウトが自在になり3密を避けて利用いただけるようになった。また、除菌ボックスや空気清浄機を使用することで安心して利用していただいた。通年より2倍近い図書の購入が可能になったことにより、シリーズ本や様々なジャンルの本を導入できたことで、コロナ禍にも関わらず、来館者、貸出数ともに若干の増加があった。
33	臨時休業要請飲食店協力金事業	①宮崎県が行った休業要請等に応じたことに対し協力金を支給するのに合わせ支援金を支給し、感染防止策を講じることでさらなる感染拡大防止につなげる ②休業要請等協力金 ③対象5事業所×150千円（その他は、県補助金） ④村内各飲食事業者	R2.8.17	R2.9.29	500,000	200,000	休業要請等支援金 100,000円×5事業所	かなり効果があった	休業要請により、飲食店を起因とする感染拡大がなかった。コロナ禍を起因とする廃業や休業が全くなかった。
34	感染症対策休業等協力補助事業	①宮崎県が行った休業要請等に応じたことに対し協力金を支給し、要請の実効性を高める ②休業要請等協力金 ③対象5事業所×50千円（その他は、県補助金） ④村内各飲食事業者	R2.8.17	R2.9.29	250,000	100,000	休業要請等協力金 50,000円×5事業所 250,000円	かなり効果があった	休業要請により、飲食店を起因とする感染拡大がなかった。コロナ禍を起因とする廃業や休業が全くなかった。
35									

No.	交付対象事業の名称	事業の計画概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 初期	事業 終期	決算額 （円）	うち臨時交付金 充当額（円）	事業実績	事業実績	
								効果検証	主な理由
36	公共交通応援事業	①バスの利用者減少で経営に大きな影響を生じているバス運行事業者に対し助成金を支給する ②バス運行事業者助成金(補助金)に充当 ③補助金:バス運行事業者1社×400,000円 ④バス運行事業者	R2.8.19	R3.3.31	400,000	400,000	公共交通支援補助(諸塚交通) 400,000円	かなり効果があった	村民の移動手段の確保に寄与できた。
37	高齢者健康維持物品整備補助事業	①外出が制限される状況において、高齢者の健康維持のための物品整備等への補助を行う ②熱中症や防寒に関する対策として、70歳以上の高齢者で年金を受給している世帯へのエアコン設置費用補助に充当 ③補助金:上限100,000円/戸×15戸×80%補助 ④70歳以上の高齢者で年金を受給している世帯	R3.1.14	R3.3.19	684,072	650,000	高齢者世帯エアコン設置(10名) 684,072円	効果があった	10世帯に設置。外出自粛により、自宅で過ごすことが増えた高齢者に対し、熱中症等の予防として効果があったと判断する。
38	インフルエンザ予防接種促進事業	①新型コロナウイルス感染症と症状が酷似しているインフルエンザについて、住民の健康維持及び医療機関の負担軽減のため、感染の予防又は症状を軽減するための予防接種を推進する ②住民がインフルエンザ予防接種を受ける経費(委託料)に充当 ③委託料: 任意インフルエンザ予防接種 4,000円/人 定期インフルエンザ予防接種 2,800円/人 ④諸塚診療所	R2.9.3	R3.3.29	4,404,000	4,400,000	任意インフルエンザ予防接種費用助成委託料 2,196,000円 定期インフルエンザ予防接種委託料 2,208,000円	かなり効果があった	インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時拡大による医療機関の負担増大を回避する対策として実施。インフルエンザの蔓延が例年より少なかったため、効果があったと判断する。
39									
40	宿泊施設および特産品製造事業者継続支援給付金事業	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、宿泊者受入や販売会・商談会参加等の営業活動を自粛している旅館・簡易宿所を営む事業者及び特産品製造事業者を対象に、コロナ対策を含めた事業継続のための対策に対する給付金を支給し、感染沈静化後の事業継続への支援を行う ②旅館・簡易宿所及び特産品製造事業者への給付金に充当 ③給付金:200千円×(旅館5、特産製造6) ④旅館・簡易宿所及び特産品製造事業者	R2.10.15	R2.11.5	2,200,000	2,200,000	宿泊施設及び特産品製造事業者継続支援給付金事業 (200,000円×11事業所) 2,200,000円	かなり効果があった	間接的にコロナ禍による影響を受けていた事業者に対し支援を行ったことで、コロナ禍を起因とする廃業や休業が全くなかった。
41									
42	諸塚村域内消費喚起対策事業	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続し、低迷している村内の商店や農産品製造販売の支援のため、地域内での消費喚起、地産地消につながる事業を実施する ②商品開発、商品販売、広告宣伝に係る補助金に充当 ③補助金 2,350千円 ※うち県補助1,150千円 (その他は県補助金) ④諸塚村商工会	R2.9.10	R3.3.17	2,328,000	1,100,000	販売会・商談の実施 800,000円 第14回世界森林認証祭り 1,028,000円 森林資源活用キャンペーン広報事業 170,000円 諸塚山山開き新聞広告料 330,000円	効果があった	【世界森林認証祭り】 新型コロナの感染拡大防止対策として、会場に集客したリアルでの開催ではなく、村内と県外都市部の4会場を結び、オンラインと小規模なリアルを融合させたハイブリッド方式で初開催した。距離や経費等の物理的制約がある遠隔地との共同イベントを実施できたことで、本村にある食や森林資源等都市部住民へPRするとともに、各会場で村産食材を使用したメニューの開発・提供により、消費喚起も行った。
43									
44	村営住宅地元産材活用事業	①地元産材を使用促進のため、村営住宅の木質化を推進し、地元産品の良さを確認し将来につなげていく ②地元産材の購入費と工事費に充当 ③修繕料:内部改修500千円×4棟 内部改修1,000千円×2棟 内部改修2,000千円×1棟 内部改修3,000千円×1棟 ④諸塚村	R2.7.12	R3.3.31	8,125,513	8,100,000	村営住宅宅の下団地内部修繕 2,866,963円 柳原団地内部修繕 496,100円 城の下団地内部修繕 1,533,950円 七ツ山団地内部修繕 1,281,830円 家代団地内部修繕 1,071,950円 家代団地内部修繕 874,720円	かなり効果があった	地元産材を使用促進のため、村営住宅の木質化を推進したことにより、コロナ禍で衰退していた村内事業者の活性化に大いに貢献し、また、入居者からも好評であった。
45	第2回臨時休業要請協力金事業	①緊急事態宣言等に伴う臨時休業等に対する支援金等を支給し、感染対策を徹底する。 ②臨時休業等支援金 ③対象4事業所×40千円×30日間 4,800千円 (その他は県補助金) ④村内各飲食事業者	R3.1.25	R3.2.16	4,800,000	400,000	感染対策休業要請等協力金 (第1期)4事業所×560,000円 2,240,000円 (第2期)4事業所×640,000円 2,560,000円	かなり効果があった	休業要請により、飲食店を起因とする感染拡大がなかったうえ、コロナ禍を起因とする廃業や休業が全くなかった。
46	各種事業者事業継続給付金事業	①新型コロナウイルス感染症対策の影響が大きい業種への事業継続のための給付金を交付し、支援を行う ②事業継続支援金 ③33店舗×200千円 6,600千円 ④対象となる事業主	R3.3.8	R3.3.31	3,283,000	3,280,000	商工会事業者持続化応援事業補助金 14事業所×200,000円+483,000(6事業所)=3,283,000円	かなり効果があった	間接的にコロナ禍による影響を受けていた事業者に対し支援を行ったことで、コロナ禍を起因とする廃業や休業が全くなかった。
47	学校保健特別対策事業費補助金	①学校再開後の対策として手指消毒薬購入を行う ②消毒薬及びマスクの購入費に充当 ③消毒薬:500ml 70本×442円 ④諸塚村(村内小・中学校に配置)	R2.7.13	R2.11.20	31,680	12,000	諸塚小学校 消毒液29本×440円=12,760円 荒谷小学校 消毒液 9本×440円= 3,960円 七ツ山小学校 消毒液 8本×440円=3,520円 諸塚中学校 消毒液26本×440円=11,440円	かなり効果があった	学校における消毒の徹底により、児童・生徒の安心な学習環境を確保することができた。
48	公立学校情報機器整備費補助金	①GIGAスクール構想事業に関連して遠隔授業に活用するカメラを購入する ②遠隔授業用カメラ購入費に充当 ③マイク付きカメラ×11台 ④村立小中学校	R3.3.10	R3.3.31	54,450	10,000	500万画素webカメラ 11台 54,450円	効果があった	遠隔授業に対応できるようになったことで、臨時休業時における不安を解消することができた。